

平成28年度 財務の概要

福岡北九州高速道路公社

目 次

1 . 会計処理の特徴	1
2 . 償還準備金積立方式のしくみ	2
3 . 収支状況	3
4 . 営業中道路の収支状況	5
5 . 財務状況	6
6 . 償還準備金の積立状況	8
7 . 長期借入金の残高状況	9
8 . 償還計画と実績の対比	10
9 . キャッシュフロー計算書	11
10 . 料金収入・通行台数・供用延長の推移	12
11 . 供用実績	13

1. 会計処理の特徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理を行っています。

＜根拠法令等＞ 地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

有料道路制度の会計の特徴は

- 有料道路事業制度は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。
- 毎年度の『収支差』（収入と費用の差）は全て投下資金（借入金）の償還に充当します。

借入金の償還状況を適切に把握するために

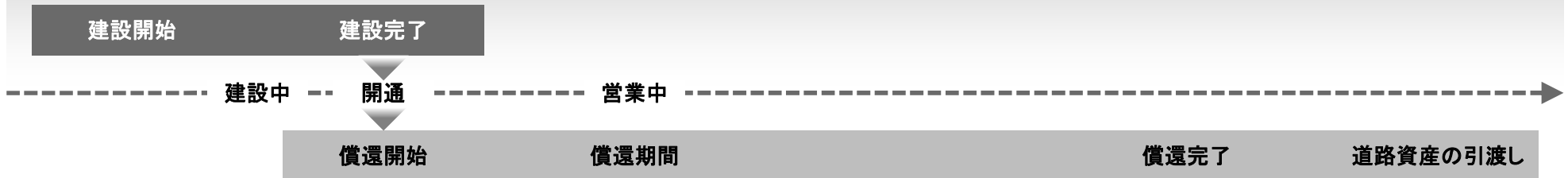
- 福岡北九州高速道路公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法上の公共法人であるため、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。
- 有料道路事業制度は、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握するため、新たな設備投資資金を積み立てるという企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上する方式は採用していません。

償還準備金積立方式を採用

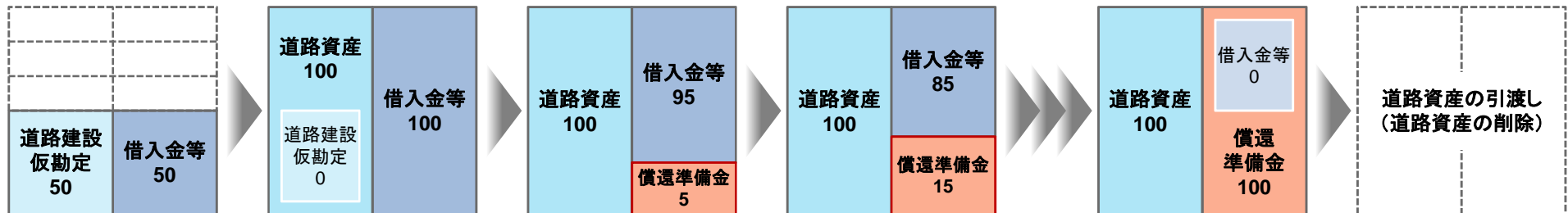
- 借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。
- 道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

2. 償還準備金積立方式のしくみ

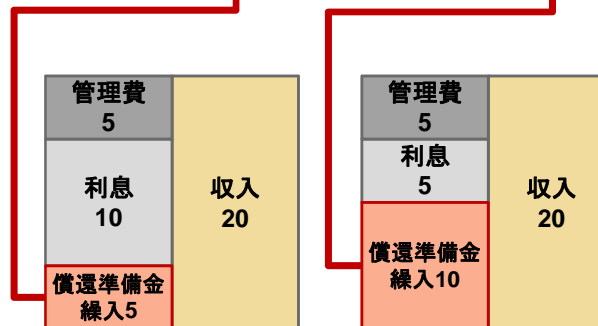
公社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



■ 貸借対照表



■ 損益計算書



3. 収支状況

平成28事業年度損益計算書（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

（単位：百万円）

費用の部				収益の部			
勘定科目	H28年度	H27年度	増減額	勘定科目	H28年度	H27年度	増減額
	A	B	A-B		A	B	A-B
経常費用	59,997	58,411	1,586	経常収益	60,052	58,461	1,591
事業資産管理費	13,925	13,542	383	業務収入	59,945	58,329	1,616
福岡高速道路管理費	9,405	9,262	143	道路料金収入	59,355	57,749	1,606
北九州高速道路管理費	4,417	4,176	241	(福岡高速道路)	41,827	40,732	1,095
福岡駐車場管理費	60	62	△ 2	(北九州高速道路)	17,528	17,017	511
北九州駐車場管理費	43	42	1	ETCマイルージ還元負担金収入	223	214	9
一般管理費	1,124	1,388	△ 264	(福岡高速道路)	198	190	8
一般管理費	985	1,253	△ 268	(北九州高速道路)	25	24	1
その他	139	134	5	駐車場料金収入	220	216	4
引当金等繰入	38,173	35,489	2,684	(福岡駐車場)	118	122	△ 4
道路事業損失補てん引当金繰入	2,748	2,674	74	(北九州駐車場)	102	94	8
(福岡高速道路)	1,936	1,886	50	その他	147	150	△ 3
(北九州高速道路)	811	788	23	受託業務収入	52	68	△ 16
償還準備金繰入	35,425	32,816	2,609	負担金事業受入金	19	18	1
(福岡高速道路)	26,188	24,251	1,937	業務外収益	35	45	△ 10
(北九州高速道路)	9,237	8,565	672	受取利息	1	6	△ 5
受託業務費	52	68	△ 16	雑益 他	34	40	△ 6
負担金事業費	19	18	1				
業務外費用	6,705	7,906	△ 1,201				
債券利息	5,161	5,895	△ 734				
借入金利息	1,368	1,764	△ 396				
雑損 他	176	247	△ 71				
当期利益金	54	50	5				
合 計	60,052	58,461	1,591	合 計	60,052	58,461	1,591

（注）端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

【道路部門】

(1) 福岡高速道路

経常収益は、421億1,600万円(対前年度比10億8,100万円の増)となりました。景気回復の影響などで通行台数が増え、高速道路通行料金が増加しました。(通行台数は、前年度と比べ1日当たり5,273台の増加)

経常費用(償還準備金繰入を除く)は、159億2,900万円(対前年度比8億5,500万円の減)となりました。金利の低下などにより支払利息等が減少しました。

道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、261億8,800万円(対前年度比19億3,700万円の増)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

(2) 北九州高速道路

経常収益は、176億4,200万円(対前年度比5億2,000万円の増)となりました。景気回復の影響などで通行台数が増え、高速道路通行料金が増加しました。(通行台数は、前年度と比べ1日当たり2,738台の増加)

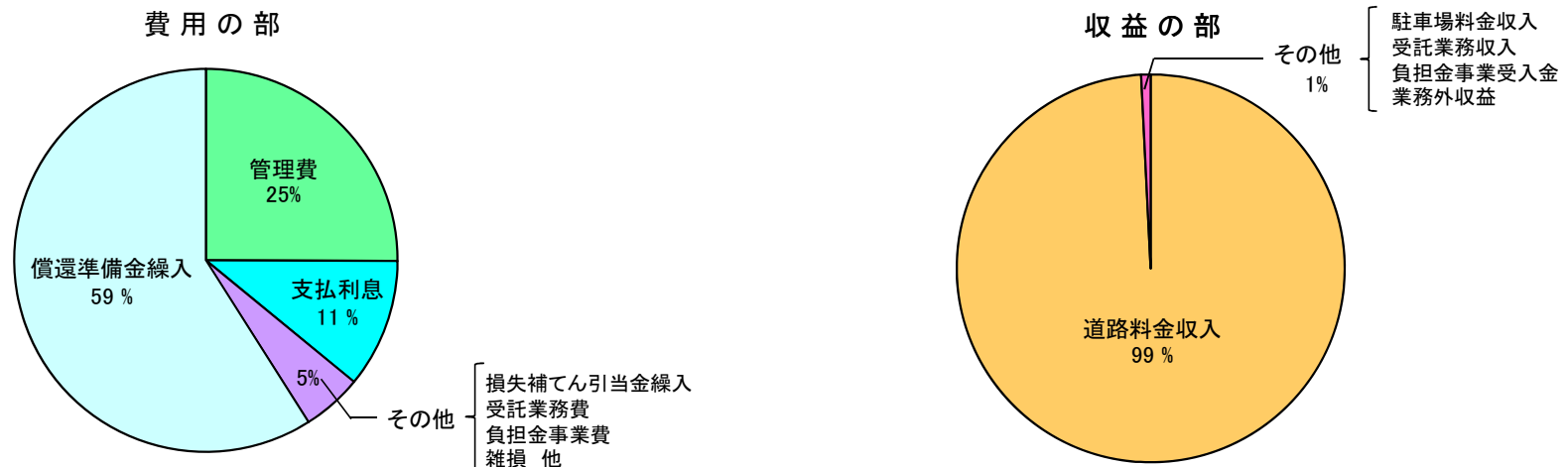
経常費用(償還準備金繰入を除く)は、84億500万円(対前年度比1億5,200万円の減)となりました。金利の低下などにより支払利息等が減少しました。

道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、92億3,700万円(対前年度比6億7,200万円の増)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

【駐車場部門】

当期利益は5,400万円(対前年比500万円の増)となりました。

☆損益計算書の内訳(道路部門・駐車場部門の合計)



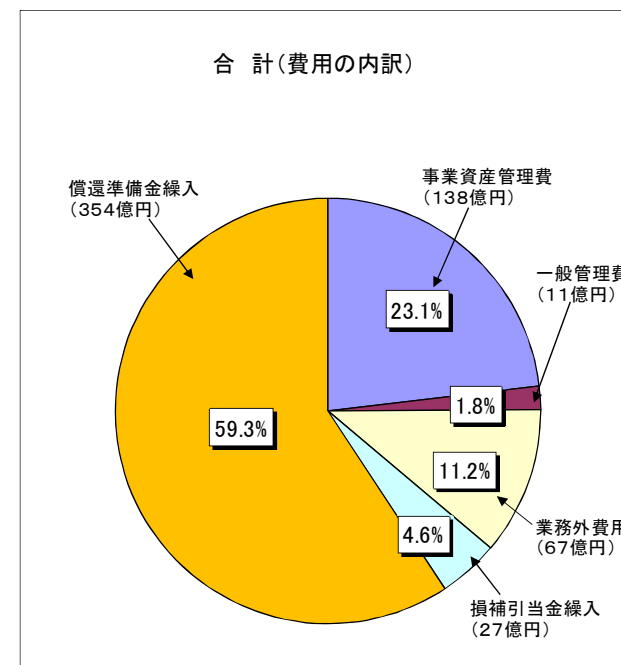
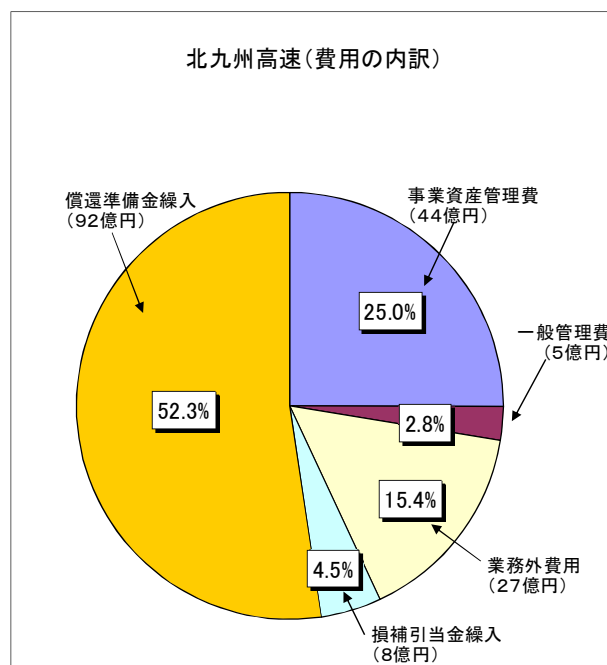
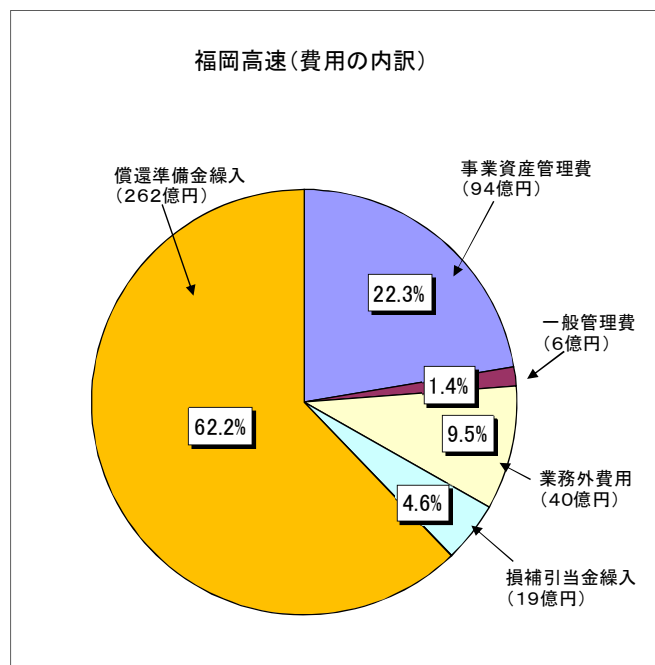
4. 営業中道路の収支状況(収支率)

「収支率」は、100円の収入を得るのにどのくらいの費用が必要であったかを示すもの。

(単位:百万円)

	福岡高速道路							北九州高速道路							合 計									
	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A-B	収支率 B/A×100	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A-B	収支率 B/A×100	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A-B	収支率 B/A×100
		事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B		
H28	42,116	9,405	607	3,980	1,936	15,928	26,188	37.8%	17,642	4,417	452	2,724	811	8,405	9,237	47.6%	59,759	13,822	1,059	6,705	2,748	24,335	35,425	40.7%
H27	41,035	9,262	881	4,755	1,886	16,784	24,251	40.9%	17,122	4,176	443	3,150	788	8,557	8,565	50.0%	58,157	13,438	1,324	7,905	2,674	25,341	32,816	43.6%

(注)端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。



5 . 財務状況

平成28事業年度貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
勘 定 科 目	H28年度	H27年度	増減額	勘 定 科 目	H28年度	H27年度	増減額
	A	B	A-B		A	B	A-B
流動資産	5,595	5,814	△ 219	流動負債	73,896	93,142	△ 19,246
固定資産	1,254,140	1,250,650	3,490	固定負債	526,661	542,545	△ 15,884
事業資産	1,249,091	1,247,558	1,533	福岡北九州高速道路債券	328,300	322,800	5,500
(福岡高速道路)	873,370	871,910	1,460	長期借入金	191,161	212,549	△ 21,388
(北九州高速道路)	375,721	375,648	73	退職給与引当金	151	149	2
事業資産建設仮勘定	1,456	0	1,456	ETCマイレージ引当金	160	158	2
(福岡高速道路)	1,456	0	1,456	資産見返交付金	6,889	6,889	0
(北九州高速道路)	0	0	0	特別法上の引当金等	437,554	399,381	38,173
有形固定資産	1,731	1,824	△ 93	道路事業損失補てん引当金	29,940	27,192	2,748
その他	1,862	1,268	594	(福岡高速道路)	9,270	7,334	1,936
繰延資産	928	880	48	(北九州高速道路)	20,669	19,858	811
				償還準備金	407,614	372,189	35,425
				(福岡高速道路)	347,494	321,307	26,187
				(北九州高速道路)	60,120	50,883	9,237
				(負債合計)	1,038,111	1,035,068	3,043
				基本金	221,520	221,298	222
				剰余金	1,032	978	54
				(資本合計)	222,551	222,275	276
資 産 合 計	1,260,663	1,257,343	3,320	負 債・資 本 合 計	1,260,663	1,257,343	3,320

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(資産の状況)

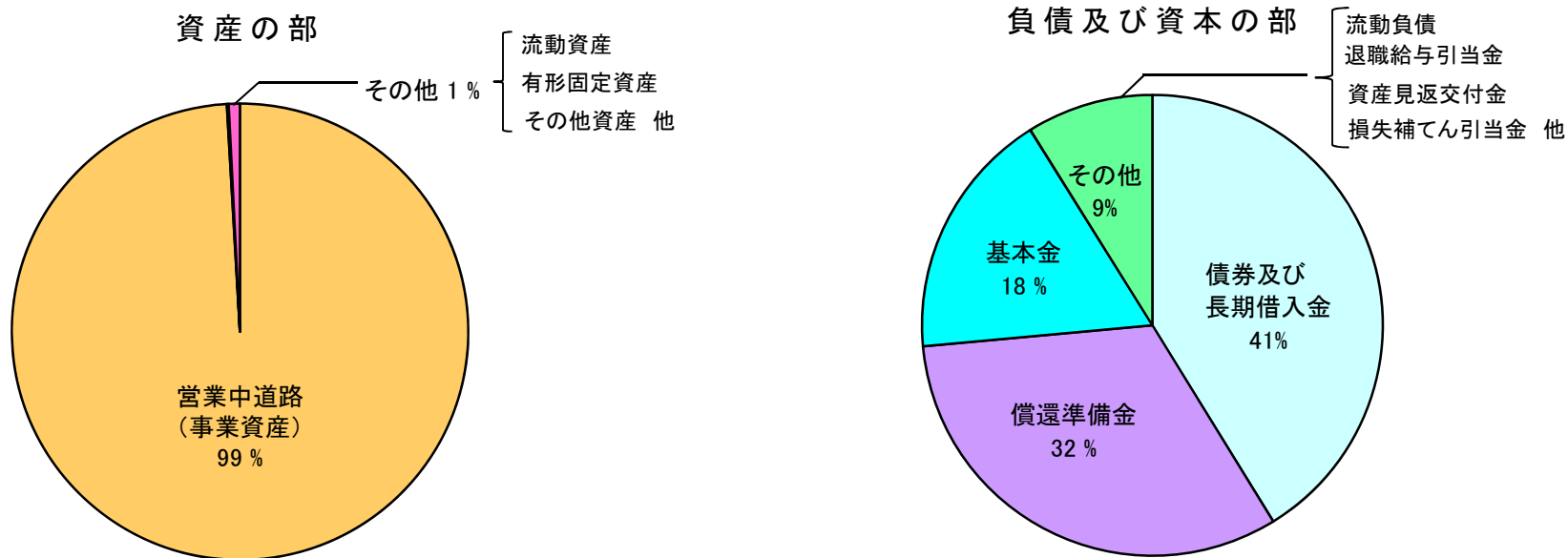
資産の総額は、1兆2,606億6,300万円となっています。このうち、営業中の道路資産は1兆2,490億9,100万円で、資産全体の約99%を占めています。

(負債及び資本の状況)

負債及び資本の総額は、1兆2,606億6,300万円となっています。主なものは、道路債券などの借入金が5,954億3,700万円(流動負債計上分の1年以内返済予定債券・借入金687億7,600万円及び固定負債計上分5,266億6,100万円の合計額)、営業中道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てた額(償還準備金)が4,076億1,400万円(福岡高速3,474億9,400万円、北九州高速601億2,000万円)、地方公共団体からの出資金が2,215億2,000万円となっています。

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

☆貸借対照表の内訳



6. 償還準備金の積立状況

【福岡高速道路】

(単位:百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H28	871,056	347,494	523,562	39.9%
H27	869,597	321,307	548,290	36.9%

【北九州高速道路】

(単位:百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H28	371,145	60,120	311,025	16.2%
H27	371,072	50,883	320,189	13.7%

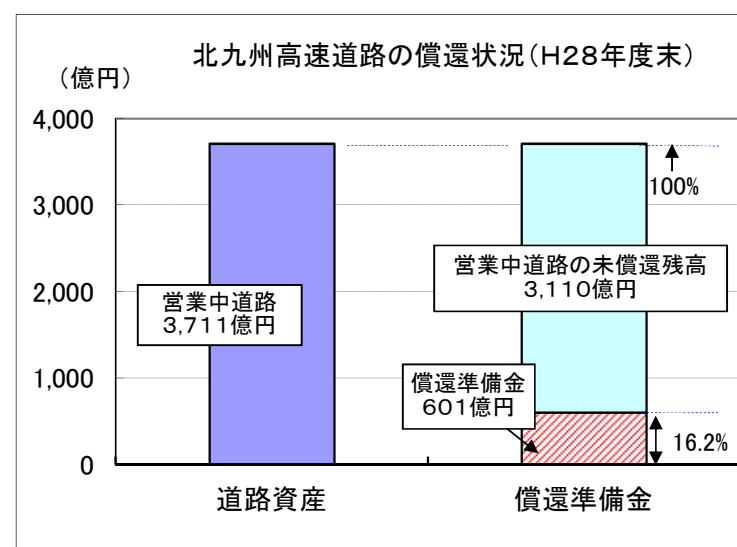
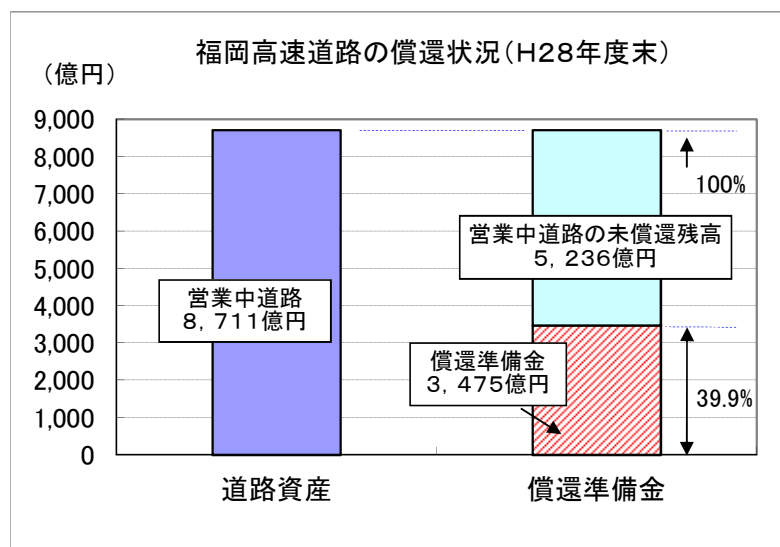
「営業中道路(償還対象額)」とは、営業中道路の建設に投下した額の合計額(営業中道路の資産総額)から、償還を要しない資産見返交付金を控除した額。

「償還準備金」とは、当該年度末までの償還準備金繰入額の累計額。

「未償還残高」とは、営業中道路について今後償還準備金を積み立てて、返済をしていくことになる金額。

(単位:百万円)

	営業中道路の 資産総額 (a)	資産見返 交付金 (b)	営業中道路 (償還対象額) (a-b)
福岡高速道路	873,370	2,313	871,056
北九州高速道路	375,721	4,576	371,145



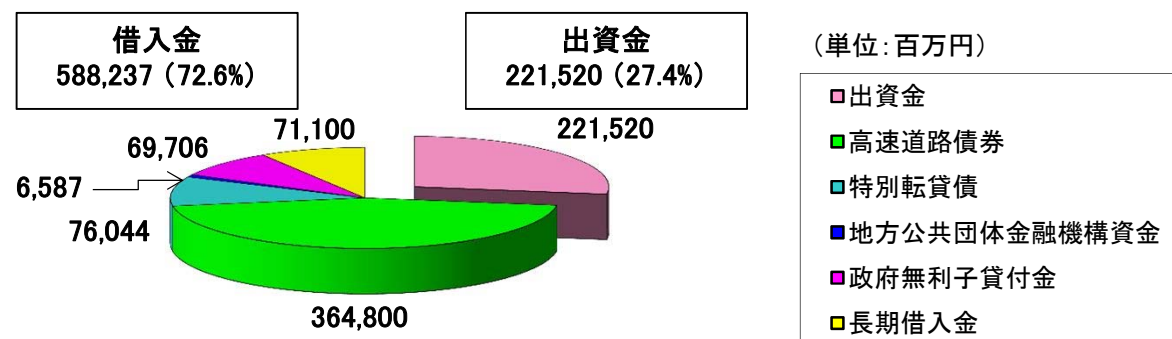
7. 長期借入金の残高状況

平成28年度末借入金残高

(単位:百万円)

	全 体			路線別内訳						
				福岡高速			北九州高速			
	H28年度	H27年度	増減額	H28年度	H27年度	増減額	H28年度	H27年度	増減額	
	A	B	A-B	A	B	A-B	A	B	A-B	
設立団体出資金	221,520	221,298	222	164,024	163,802	222	57,496	57,496	0	
借入金	高速道路債券	364,800	371,800	△ 7,000	197,328	202,898	△ 5,570	167,472	168,902	△ 1,430
	特別転貸債	76,044	86,250	△ 10,206	63,210	70,861	△ 7,651	12,833	15,389	△ 2,555
	地方公共団体金融機構資金	6,587	7,645	△ 1,058	5,320	6,169	△ 849	1,267	1,476	△ 209
	政府無利子貸付金	69,706	84,080	△ 14,374	54,932	66,301	△ 11,369	14,774	17,780	△ 3,005
	長期借入金	71,100	71,100	0	33,800	31,800	2,000	37,300	39,300	△ 2,000
	計	588,237	620,875	△ 32,638	354,590	378,029	△ 23,438	233,647	242,847	△ 9,200
合計	809,757	842,173	△ 32,416	518,614	541,831	△ 23,216	291,142	300,342	△ 9,200	

(注) 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。



8. 償還計画と実績の対比

【平成28年度決算】

(単位: 億円)

道路名		収益(a)	費用(b)				償還準備金繰入(a-b)	償還準備金	事業資産(交付金除く)	償還率(%)
			管理費(うち消費税)	損失補てん	金利	合計				
合 計	決算	598	149 (37)	27	67	243	354	4,076	12,422	33%
	計画	547	140 (20)	26	123	289	258	3,782	12,422	30%
福岡高速	決算	421	100 (26)	19	40	159	262	3,475	8,711	40%
	計画	359	96 (12)	17	75	188	171	3,144	8,711	36%
北九州高速	決算	176	49 (10)	8	27	84	92	601	3,711	16%
	計画	188	45 (7)	9	48	101	87	638	3,711	17%

※ 端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

●償還計画の対比方法

実績(平成28年度決算)と対比するため、償還計画に対し、収支計算と損益計算の差額を加減算しました。
 償還計画は、福岡高速は平成24年7月料金認可、北九州高速は平成20年10月料金認可を使用しました。
 償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差し引いたもので除して算出しております。

●損失補填引当金

損失補てん引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満了時に借入金等が残った場合に備えて、その補てんに充てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法に定められています。

すなわち損失補てん金は、決算では費用として扱っていますが、将来のリスクに備え、公社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っており、その額は借入金の返済余裕を表しています。

損失補てん金の残高は平成28年度末で299億円となっています。

9. 平成27・28事業年度福岡北九州高速道路公社キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	H28事業 年度		H27業 年		増減額 A - B
	A		B		
営業活動によるキャッシュ・フロー	354.2		328.2		26.1
当期償還準備金繰入	0.5		0.5		0.0
当期利益	1.3		1.2		0.1
減価償却費	1.5		1.6		0.1
債券発行諸費等償却	0.6		1.7		1.1
退職給与引当金等の増減額	0.0		0.1		0.1
E T Cライレージ引当金の増減額	27.5		26.7		0.7
損失補てん引当金の増減額	51.6		58.9		7.3
債券利息	13.7		17.6		4.0
借入金利息	1.8		0.3		2.1
未収金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	7.0		12.2		19.2
未払金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	0.0		0.0		0.0
その他の増減額	455.0		421.3		33.7
小計	0.0		0.1		0.0
利息の受取額	52.5		59.9		7.5
債券利息等の支払額	13.9		18.0		4.1
借入金利息の支払額	388.6		343.4		45.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	15.1		3.5		11.6
投資活動によるキャッシュ・フロー	19.5		8.2		11.4
事業資産の取得による支出	1.8		0.3		1.5
建設仮勘定の取得による支出	0.0		0.0		0.0
固定資産の取得による支出	36.4		12.0		24.4
事業資産等の売却による収入					
投資活動によるキャッシュ・フロー	0.0		30.0		30.0
財務活動によるキャッシュ・フロー	30.0		20.0		10.0
短期借入による収入	108.6		92.7		15.9
短期借入金返済による支出	365.3		383.2		17.9
長期借入による収入	418.3		378.5		39.8
債券の発行による収入	490.0		428.1		61.9
債券の償還による支出	2.2		0.0		2.2
出資金の受入による収入	356.1		330.0		26.1
財務活動によるキャッシュ・フロー	0.0		0.0		0.0
現金及び現金同等物に係る換算差額	4.0		1.3		5.3
現金及び現金同等物の増加額	5.7		4.4		1.3
現金及び現金同等物期首残高	1.8		5.7		4.0
現金及び現金同等物期末残高					

端数処理の関係上、合計において合致しない場合があります。

(注記) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金・預金	1.8 億円	5.7 億円	4.0 億円
現金及び現金同等物	1.8 億円	5.7 億円	4.0 億円

10 . 料金収入・通行台数・供用延長の推移（全体）

平成28年度

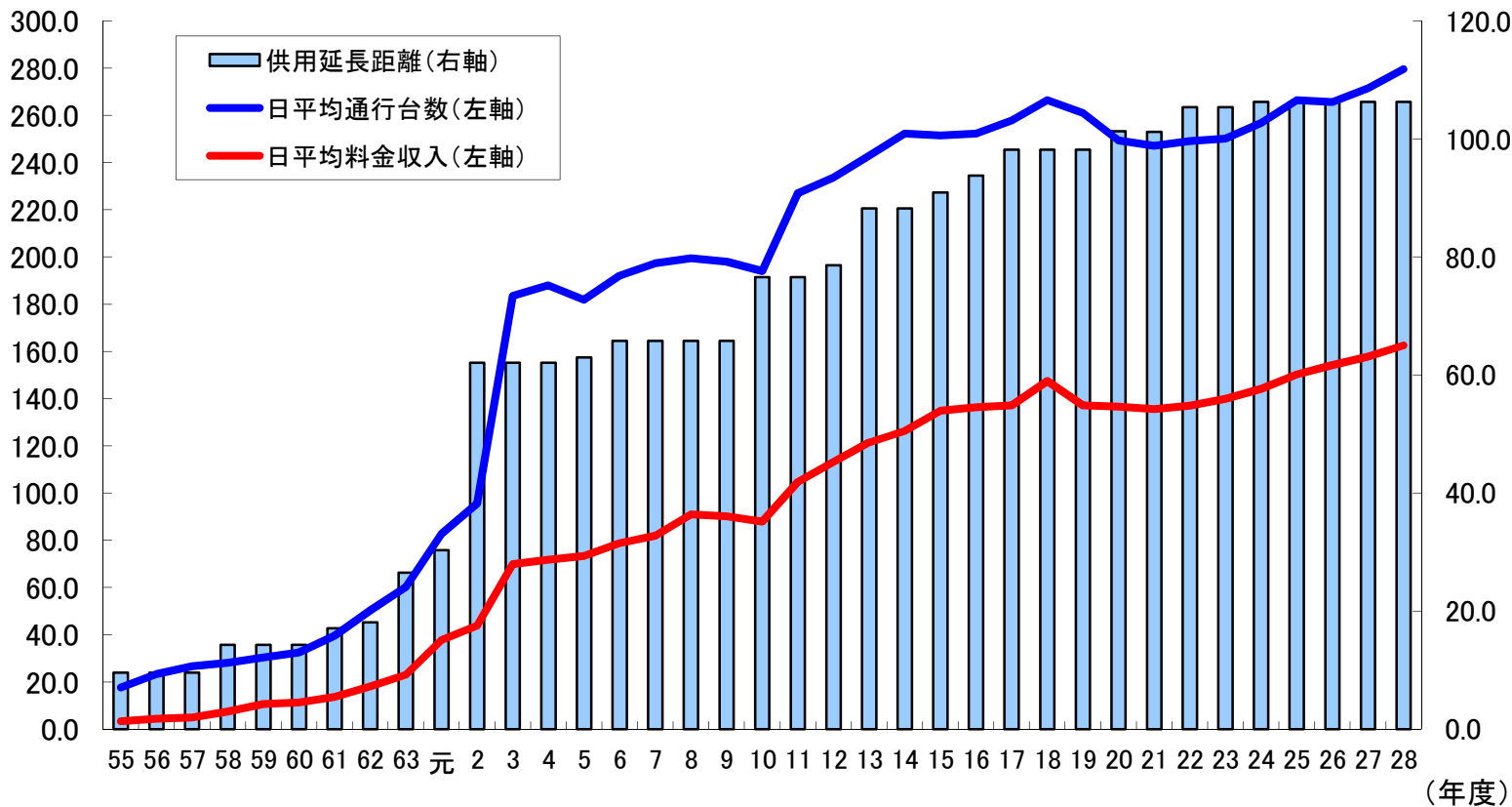
料金収入 **594億円**

日平均料金収入 **1.6億円**

日平均通行台数 **28.0万台**

日平均料金収入・通行台数
(百万円・千台)

供用延長距離
(km)



供用延長距離	
平成29年3月末現在	106.3km
料 金	
福岡高速	
普通車	620円
大型車1	230円
北九州高速	
普通車	510円
大型車1	030円

11. 供用実績

〔福岡高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55.10.20	5.9	5.9	香椎～東浜	400	200
	S57.3.27	-	5.9	貝塚入口		
	S58.6.30	-	5.9	貝塚出口		
二次供用	S58.10.6	1.5	7.4	東浜～築港	700	350
三次供用	S61.4.23	0.8	8.2	千鳥橋JCT～呉服町	800	400
四次供用	S62.11.6	1.0	9.2	築港～天神北		
五次供用	S63.10.31	2.1	11.3	天神北～西公園	1,000	500
				千鳥橋JCT (渡り線)		
				西公園～百道 呉服町～榎田 豊JCT～空港通		
六次供用	H1.10.1	-	16.5	料金改定 (消費税3%転嫁)	1,030	510
	H2.12.25	-	16.5	名島本線料金所拡幅		
	H3.3.21	-	16.5	東浜西出口		
	H4.4.23	-	16.5	名島出入口		
	H4.7.1	-	16.5	東浜西入口		
	H5.4.2	0.9	17.4	香椎東～香椎		
七次供用	H6.4.4	2.8	20.2	榎田～月隈北	1,100	550
	H9.6.1	-	20.2	料金改定 (回数通行券料金)		
八次供用	H11.3.27	10.8	31.0	月隈～水城	1,230	620
				貝塚JCT～粕屋		
				料金改定・貝塚入口		
九次供用	H12.3.28	-	31.0	料金改定	1,230	620
	H12.11.21	0.5	31.5	貝塚JCT (渡り線)		
十次供用	H13.10.13	5.3	36.8	百道～福重	1,200	600
十一次供用	H14.3.10	1.9	38.7	粕屋～福岡IC		
十二次供用	H15.5.1	-	38.7	料金改定	1,200	600
十三次供用	H15.5.1	2.7	41.4	月隈JCT～板付		
十四次供用	H16.6.27	2.9	44.3	西月隈出入口・板付～野多目	1,200	600
十五次供用	H18.3.26	4.4	48.7	野多目～堤		
十六次供用	H20.4.19	3.1	51.8	堤～野芥	1,230	620
十七次供用	H23.2.26	4.1	55.9	野芥～福重		
十八次供用	H24.7.21	0.9	56.8	福重JCT (渡り線)	1,230	620
	H26.4.1	-	56.8	料金改定 (消費税5% 8%)		
備 考	福岡高速全号線に、ETC導入 (H18.4.1)					

(注) 料金改定日は、一次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合同日です。

〔北九州高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55.10.20	3.7	3.7	日明～篠崎北	300	150
	S58.10.6	3.2	6.9	篠崎北～若園 東港出入口		
二次供用	S59.4.21	-	6.9	篠崎南出口	700	350
	S61.12.2	2.0	8.9	若園～横代 篠崎南入口		
三次供用	S63.12.17	1.1	10.0	愛宕 JCT～下剱津		
四次供用	H1.8.30	2.8	12.8	日明～戸畑 (消費税3%転嫁)		
				戸畑～若戸 東港 JCT～小倉駅北 西港出口 東港出入口廃止	720	360
六次供用	H2.3.31	1.0	13.8	春日～馬場山 一部区間料金 (4号線)	300	150
					400	200
					500	250
					600	300
					720	360
七次供用	H3.3.31	31.8	45.6	料金改定	720	360
八次供用	H12.7.26	1.5	47.1	長野～横代 料金改定		
九次供用	H13.7.2	2.4	49.5	枝光出入口～大谷出入口 大谷 JCT	1,000	500
十次供用	H18.2.26	-	49.5	小倉東IC接続 料金改定 (消費税5% 8%)	1,030	510
備考	九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛出口を新設 (H17.3.31供用) 九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛入口を新設 (H18.3.4供用) 北九州高速全号線に、ETC導入 (H20.11.1) 北九州高速5号線と北九州市道東田出入口が接続 (H22.12.15)					

(注) 料金改定日は、一次、七次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定の場合のみ同日です。